

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)

【公表番号】特表 2019-512018 (P2019-512018A)

【公表日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【年通号数】公開・登録公報 2019-017

【出願番号】特願 2018-560436 (P2018-560436)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 31/712 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

C 1 2 Q 1/686 (2018.01)

C 1 2 Q 1/6851 (2018.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7088 Z N A

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 31/712

A 6 1 P 29/00

G 0 1 N 33/53 P

G 0 1 N 33/68

C 1 2 Q 1/686 Z

C 1 2 Q 1/6851 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 29 日 (2020.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体において炎症性障害を治療するための組成物であって、H o m - 1 の発現を阻害する核酸分子と薬学的に許容可能な担体とを含む、組成物。

【請求項 2】

前記核酸分子が、R N A i 剤又はアンチセンスオリゴヌクレオチドである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記核酸分子がモルホリノオリゴヌクレオチドである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記核酸分子が配列番号 3、4、5 又は 6 の配列を有するモルホリノオリゴヌクレオチドである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

局所、経口、直腸、経鼻、静脈内、関節内、結膜、頭蓋内、腹腔内、胸膜内、筋肉内、

髄腔内又は皮下投与経路用に配合される、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記被検体から得られる炎症組織サンプルが、対照レベルと比較してより高レベルの H o m - 1 を発現する、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記対照レベルが、非炎症組織サンプルにおける H o m - 1 の発現レベルに相当する、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

炎症性障害の治療剤を同定する方法であって、
炎症組織サンプルと試験治療剤とを接触させることと、
前記組織サンプルにおいて H o m - 1 の発現レベルを検出することと、
を含み、前記発現レベルが対照レベル以下である場合に、前記試験治療剤を前記炎症性障害の候補治療剤とする、方法。

【請求項 9】

前記試験治療剤がステロイド性、非ステロイド性の抗炎症薬、免疫抑制剤である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記試験治療剤が H o m - 1 阻害剤である、請求項 8 又は 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記試験治療剤がタンパク質、ペプチド、ペプチド模倣薬、ペプチド、細胞、抗体若しくはそのフラグメント、小分子化合物、核酸分子、又は植物抽出物である、請求項 8 ~ 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

前記対照レベルが、非炎症組織サンプル又は試験治療剤と接触させる前の前記炎症組織サンプルにおける H o m - 1 の発現レベルに相当する、請求項 8 ~ 11 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

被験体において炎症性障害を治療するための組成物であって、
H o m - 1 阻害剤で処理した、又は H o m - 1 阻害剤を発現する発現構築物を含有する
改変マクロファージ、単球又は樹状細胞を含み、該改変マクロファージ、単球又は樹状細胞が対照レベルと比較してより低レベルの H o m - 1 を発現する、組成物。

【請求項 14】

前記 H o m - 1 阻害剤が H o m - 1 の発現を阻害する、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記 H o m - 1 阻害剤が R N A i 剤又はアンチセンスオリゴヌクレオチドである、請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記被験体から得られる炎症組織サンプルが対照レベルと比較してより高レベルの H o m - 1 を発現する、請求項 13 ~ 15 のいずれか一項に記載の組成物。